

法政大学 社会学部 「クリエイティブ・ライティング」 担当講師・梨屋アリエ の授業で、
これまでに公開発表されている、学生作品集のご案内です。

「クリエイティブ・ライティング」は2年生以上の、半期のみの実習中心の授業です。ほとんどが、エッセイや
小説をはじめて書く学生たちです。本人が公開を許可した作品だけ収録しています。(筆名使用あり)

パスワードの入力が必要なものがあります。ご確認ください。

2021年 春学期 学生エッセイ作品集

「二年目のコロナの春」と「思い出の本」をテーマにしたエッセイ課題を、電子書籍化しました。学生が掲載に
同意した作品のみ収録しています。



『大学生と二年目のコロナの春』

<http://bccks.jp/bcck/171775/info>

パスワード c r

2021年の大学生は、コロナ禍2

年目の春をどのように捉え、過ごし
ていたのでしょうか。

講師の選んだ15作のみ収録。それぞ
れ800字の短いエッセイです。今年
は60ページ程度で薄いです。



テーマ「思い出の本」

2限クラス

『ノスタルジア～活字世界と現実世
界』

<https://bccks.jp/bcck/169856/info>

20作収録。

小説や絵本、マンガなど、思い出とつ
ながっている本についての1200字
のエッセイです。



テーマ「思い出の本」

3限クラス

『にんげんのもと～11冊のタイ
ム・マシン』

<https://bccks.jp/bcck/169781/info>

11作収録

小説や絵本、マンガなど、思い出とつ
ながっている本についての1200字
のエッセイです。

2020年 秋学期 学生小説作品集

「ソーシャル・ディスタンス」をテーマにした短編小説アンソロジー作品集を、電子書籍化しました。電子書籍は無料で公開しています。

学生のアイデアを採用して、タイトルと掲載順の違う3冊を作りました。収録作品はすべて同じで、学生の21作品を収録しています。

収録作品 タイトル50音順 『いつもと同じ』『埋まらない距離』『距離感』『極夜心中』『言葉の宝箱』『心の距離、体の距離』『寂しさを埋める』『36・4度』『潮騒』『自粛』『席替え』『ソーシャルディスタンス家令嬢の優雅な一日』『他人のまま』『二百メートル先』『端と端』『裸の王様』『ぼくの気持ちはステイホーム』『メルヘンうさぎのおじさん』『忘却宇宙』

下記のリンクをクリック。(bcckサイトへ)



『あなたの隣に寄り添う一冊
~ソーシャル・ディスタンスを
保ってお読みください~』

<https://bccks.jp/bcck/167552/info>

もくじの構成

等身大でリアルな、コロナ禍の大学生の
恋バナから、広がっていきます。



『ソーシャル・ディスタンス っていうのはね、』

<http://bccks.jp/bcck/167606/info>

もくじの構成

ほっこり (温かくなる物語)

クスッと (笑顔になれる物語)

ヒヤッと (背筋が凍る物語)

じっくり (考えさせられる物語)

はて…? ほろり (ちょっと不思議な物語)

作品の読後感にあわせた分類



『ソーシャル・ディスタンスのお供
一日分』

<https://bccks.jp/bcck/167607/info>

もくじの構成

朝食

昼食

おやつ

夕食

夜食

作品のイメージにあわせた分類

2020年春学期のクリエイティブライティング受講の大学生による「コロナ」エッセイ・アンソロジー作品集

3限クラスの掲載希望者のみ収録

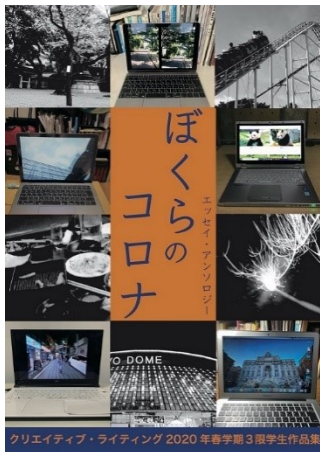
『ぼくらのコロナ』 <https://bccks.jp/bcck/165039/info>

4限クラスの掲載希望者のみ収録は装丁と収録順の違う2種類あります。

『変わる世界と私たち』 <https://bccks.jp/bcck/165076/info>

『DAY×DAY コロナと春と大学生』 <https://bccks.jp/bcck/165116/info>

(4限クラスの二冊は、収録作品は同じものですが、収録順と本のデザインが違います。)



家族や友達との旅行。アルバイトで稼 2020年、私たちの生活は、突如現れ 春の訪れと共に、海を越えて私たち
ぎまくる。少しでも早い内定獲得。みた「小さな敵」によって大きく変わりのところにやってきた未知のウイ
んな、思い思いの春休みを想像してい はじめた。その敵は、私たちにとって ルス。日本中に感染が広まっていく
た。しかし、そこに突如現れた新型コ 「天使」か「悪魔」か……。 でも変 なかで、大学生は何を思い、何を感
口ナ。正体不明のウイルスに無情にも わりゆく中でも変わらないものはあ じたのか。非常事態下の学生生活や
“当たり前”な日常が切り取られている。麺とご飯はいつでもおいしい。で オンライン授業など、当時ならでは
く。「ぼくら」は何を感じ、何を考え しょ？ きっといつ読んでも色褪せ の風変わりな日々を一冊にまとめ
たのか。大学生13人の思いをエッセ ない、特殊な生活を送った大学生た ました。

イに綴った。誰もが予想していなか ちのエッセイ集。

った異例の春。この春をぼくらは一生

忘れることができない……

紙の本



3・4限合同作品集。(紙の本 新書版、p190 非売品)

電子書籍版はクラスごとに学生に編集しましたが、紙に印刷・製本した、3・4限
合同の作品集は、講師の梨屋が作成しました。

紙に印刷した本をご希望の方は、問い合わせフォームからメールでご連絡くださ
い(配布終了しました)。ご希望の方は、印刷製本費用と送料(840円または84円
切手×10枚)をご負担ください。

内容が知りたい方は、上記の電子書籍でご確認ください。収録されている作品は同
じものです。

[こちらの3・4限合同作品集も電子書籍で読めるようにしました](#)

2019年 秋学期 (アンソロジー小説)

大学生による短編小説 11 作品「私は知っている」「向き合うこと」「背中を追って」「あの物語の続き」「僕と青いハンガー」「集合写真」「心のことば」「千の名を持つ赤い花」「お母さん」「タイムカプセル」「オレンジでも赤でもない」が次の二つの電子書籍に収録されています。

『卒業～奇怒愛楽』 <https://bccks.jp/bcck/162107/info>

『卒業～アノヒノジブン イツカノジブン』 <https://bccks.jp/bcck/162204/info>



あなたにとって「卒業式」とは何ですか？ 悲しいモノ？ 嬉しいモノ？ イメージするのは学校？ 親な旅立ちでしょうか？ それとも大切なものとの別れ？ 一人一人それぞれが「卒業式」をテーマに、卒業を様々な角度から切り取った作品たち、きつみにショートストーリーを書きました。楽しいと思えるものとあなたに合った作品が見つかるはずです。

もの、辛いと感じるもの、様々な感情が込められています。人生を描いた作品やファンタジー風に表現された作品と作風も全く異なり、読み応え間違いなしです！！感情を掻き立てられる！！作品を読んでみませんか？ 退屈な毎日のアクセントに最適です！

下の4冊は、収録作は共通です。レイアウトと順番が違っていますが同じ作品です。

『14のタイムブックカプセル』チーム からあげうどん (編 <https://bccks.jp/bcck/160258/info>)

『華 ~あの頃の思い出~』チーム ぼんかん (編 <https://bccks.jp/bcck/160256/info>)

『本とわたし』チーム モッチー (編 <https://bccks.jp/bcck/160353/info>)

『植木鉢』チーム ばら組 (編 <https://bccks.jp/bcck/160349/info>)

法政大学 社会学部 クリエイティブ・ライティング 2019年春学期 受講学生エッセイ作品集
テーマ「思い出の本」のエッセイ課題を、それぞれのチームで編集し、装幀や書名を考え、電子書籍化しました。
4冊とも収録作品は共通のものですが、作品の掲載順や構成が異なります。ぜひ編集後記も御覧ください。
今回はBCCKS(ブックス)という無料のWebサービスを利用しました。(担当・梨屋アリエ)

『14のタイムブックカプセル』
チームからあげうどん (編)
<https://bccks.jp/bcck/160258/info>



私たちのチーム名はからあげうどんです。元々出ている料理と料理を合わせてみたら意外な組み合わせでもおいしいものが作れるのでは？ 実際にはからあげうどんを食べてみたらおいしかったです。本との出会いも同じではないでしょうか？ このエッセイ集はいくつかのカテゴリに分けられています。普段読まないタイプの作品を読んでみることで今まで知らなかった経験ができます。自分の知らない他人が見ている世界へ、ぜひカテゴリに注目してほしいです！

『植木鉢』
チームばら組 (編)
<https://bccks.jp/bcck/160349/info>





「思い出の本」そう聞いてあなたはどんな本を思い浮かべますか。幼い頃にお母さんに何度も読むようせがんだ本、学校帰りにふらっと立ち寄った地元の本屋でふと目に付いた本、友達の間で話題になったけどこの本屋でも売り切れて読めなかった本など。意外と近くに思い出の本はあるかも……。今回14名の学生が思い出の本をテーマにエッセイを作成しました。出会いは小学生時代から大学生時代まで。本のジャンルは絵本から参考書まで。14人14色のイロとカタチの思い出が描かれています。このエッセイ集を読んで、あなたも思い出の本を思い出してみませんか。

『華 ~あの頃の思い出~』
チームぼんかん (編)
<https://bccks.jp/bcck/160256/info>



みなさんと本にはどのような思い出がありますか。人によって色や形が違う思い出は、まるで花のよう。この本は、個性豊かで華やかな「花」の数々をまとめたエッセイ集です。私たちの作品をきっかけに、自分と本を振り返ってみませんか。

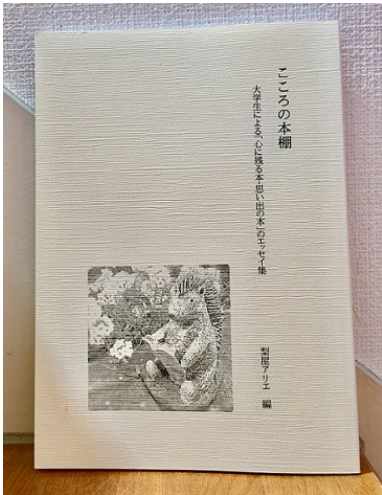
『本とわたし』
チームモッチー (編)
<https://bccks.jp/bcck/160353/info>



あなたは本をどこでどう読みますか？ 学校に向かう途中？ トイレの中？ 部屋に一人きりで？ 静かな図書館で？ 気に入ったところに鉛筆で線を引く？ 読書ノートを作ってるかな。活字が苦手な人は声に出して読んでいるかも。私たちは本を読む。ひとりて。読書という行為を通して私は「わたし」と向き合うことになる……。なんてことを考えながら、ひとつひとつのエッセイをまとめてみました。

2015 年秋学期学生作品集

『こころの本棚 大学生による「心に残る本 思い出の本」のエッセイ集』 印刷版 A5 本にまつわる思い出のエッセイ 19 作品収録



Web 非公開

紙版のみ。